

# 進化するチャンギ空港 — 第5ターミナル建設について

一般財団法人自治体国際化協会シンガポール事務所 所長補佐 長田 翔  
(富山県から派遣)

## 1. 東南アジアの玄関口シンガポール

シンガポールは、その地理的優位性を生かし、人とものが行き交う東南アジアの玄関口として発展してきた。現地で生活する中でも、多様な国・地域から人や物が集まり、空港や港湾を通じて絶えず移動している様子を日常的に目にする。

こうした状況は数字からも裏付けられている。チャンギ空港の2024年の旅客者数は約6,770万人に達し(①)、アジア有数の国際ハブ空港としての地位を確立している。現在、約160都市と直行便が結ばれており、東南アジアのみならず幅広い地域と接続している点が特徴である。また、シンガポール港はコンテナ取扱量において世界第2位(約3,900万TEU)となっており(②)、国際物流分野でも高い存在感を示している。

このように、空と海の両方で世界トップクラスの地位を獲得していることがシンガポールの強みとなっている。近年は、こうした役割を将来にわたってさらに強化するため、大規模な国家プロジェクトが進められている。空の分野ではチャンギ空港第5ターミナル(T5)の建設が進められている。本稿では、T5建設の経緯や導入予定の最新技術を紹介する。

## 2. チャンギ空港第5ターミナル(T5)建設の背景と目的

まず、T5は、シンガポール東部チャンギ・イースト地区で進められている国家プロジェクトであ

り、2025年5月14日に起工式が行われた。完成は2030年代半ばが予定されている(③)。建設の背景には、アジア太平洋地域における航空需要の拡大がある。アジア太平洋地域は今後最も成長する航空市場の一つと見込まれており、その需要増加に対応するため整備が進められている。

## 3. チャンギ空港規模の拡大とネットワークの強化

T5は、既存の第1～第4ターミナルを合計した規模と同程度の面積を有する大規模施設である。完成後のT5は、年間約5,000万人の旅客に対応可能とされており(④)、既存ターミナルを含めたチャンギ空港全体の旅客処理能力は、年間約1億4,000万人規模となる見込みである。また、前述したとおり、現在、チャンギ空港は約160都市と直行便で結ばれているが、T5の整備により200以上の都市との接続が想定されている(④)。

参考として、日本の主要国際空港である羽田空港及び成田空港と比較すると、以下のとおりである。

項目	旅客者数	航路数(都市)
チャンギ空港	1億4,000万人 (T5完成後・見込)	200以上 (T5完成後・見込)
羽田空港	約8,661万人 (2024年・実績)	103 (2026年2月時点)
成田空港	約3,980万人 (2024年・実績)	122 (2026年11月時点)

(参考資料④～⑧を基に作成)

(参考資料)

① Changi Airport Group プレスリリース

[<https://www.changiairport.com/en/corporate/our-media-hub/newsroom/press-releases.2024-year-in-review.2025.all.html>]

② 国土交通省 [世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング]

[<https://www.mlit.go.jp/statistics/details/content/001517678.pdf>]

③ CHANGI airport group 空港の着工についてのプレスリリース

[<https://www.changiairport.com/en/corporate/our-media-hub/newsroom/press-releases.changi-airport-terminal-5-breaks-ground.2025.all.html>]

T5 完成後の規模はアジアにおけるハブ機能を一段と強化する計画であることがわかる。

#### 4. 大規模な自動化と運営効率の向上

T5 では、規模拡大だけでなく、空港運営の効率化も図られている。まず、ターミナル内の移動を円滑にする自動人搬送システム（APM：Automated People Mover）が導入される予定である（⑨）。APM は無人運転によって空港内を高速移動する交通システムであり、大規模化する空港内での移動効率を大きく向上させる役割を担う。

さらに、ターミナルと航空機間の荷物の輸送において、自動荷物搬送（Autonomous Baggage Transfer）の活用が想定されている。これにより、悪天候下でも効率的かつ安定した運用が可能となる。さらに、ロボットによる手荷物処理が想定されており、大量の荷物を迅速に搬送できる体制が整えられる。

#### 5. 環境にやさしい持続可能な空港

また、T5 は持続可能なターミナルとしても位置付けられている。屋上空間には大規模な太陽光発電設備が導入される予定で、その発電量は 4 部屋の HDB フラット（シンガポールの公営住宅）約 2 万戸分の年間電力使用量に相当するとされている。

また、スマートビル管理システムの導入により、空調や照明などのエネルギー使用を効率的に制御する計画である。

#### 6. アクセス強化

T5 の整備にあわせ、空港へのアクセス機能も強化される予定である。新たに地上交通センター（Ground Transport Centre）が整備され、MRT、バス、タクシーなど複数の交通手段を一体的に結ぶ拠点となる。これにより、到着後の移動や乗り継ぎがより円滑になることが期待されている。

また、T5 には新たな MRT 駅の設置も計画されている。市内中心部や周辺地域との接続性がさらに向上する見込みである。

#### 7. 今後の展望

近年、アジア地域では空港の拡張計画が相次いでいる。中東のドバイ国際空港やドーハ・ハマド空港、アジアでは香港国際空港なども拡張計画を進めており、国際ハブ空港間の競争は一層激化している。

こうした環境の中で、T5 の整備は、チャンギ空港の旅客処理能力とネットワークを将来にわたり維持・強化するための重要な取り組みである。完成後は、現在の国際ハブ機能をさらに発展させ、アジアと世界を結ぶ拠点としての役割の拡大が期待される。

#### 〈参考資料〉

- ④ Changi airport group ファクトシート  
[<https://www.changiairport.com/en/corporate/our-media-hub/newsroom/press-releases/fact-sheet-changi-airport-terminal-5.2025.all.html>]
- ⑤羽田空港 旅客ターミナル利用実績（2024 年）  
[<https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/files/result/000015827.pdf>]
- ⑥羽田空港 就航都市一覧  
[[https://tokyo-haneda.com/flight/city\\_list.html](https://tokyo-haneda.com/flight/city_list.html)]
- ⑦成田空港 空港運用状況  
[<https://www.narita-airport.jp/files/662d42d26cc76fcd2c8d9070d671ca327fd6ad3302d51195a87b98544586d08b>]
- ⑧成田空港 就航都市一覧  
[<https://www.narita-airport.jp/ja/discover/citylist/>]
- ⑨ Changi airport group Future Development  
[<https://www.changiairport.com/en/corporate/about-us/future-developments.html#tabs-47304eb06b-item-21cc20f244-tab>]